

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-5	政策名	農工商観連携の推進	政策の 目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	古川 昌
	施策No.	1	施策名	起業の推進	施策の 目指す姿	多様な分野で起業や新事業展開を活発に行っています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な経済状況の低迷による倒産や事業の再編・集約化、地方拠点の統廃合等により、市内の事業所数が減少しています。 ・経済活動のグローバル化の進展や経済情勢の急速な変化が見られる中、社会ニーズに対応した高付加価値の製品開発には膨大な時間と労力が必要です。 ・市内の製造業は、受託製造が多く、独自に事業分野の拡大や新たな操業を積極的に図る事業者が少ない状況です。 ・新たな産業創出や地域企業の商品開発、新事業展開への取り組みを支援するためのインキュベーター施設において、賃貸棟やビジネスインキュベーターの入居率が高い一方で起業化支援センター研究室の活用が進んでいない状況にあります。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性)

・今後も起業化支援センターが地域企業への貢献と期待に応えられるよう、指定管理制度の導入や企業コーディネート機能の強化を行う。

(反映状況)

・起業化支援センターほか新事業創出基盤施設の指定管理について、平成31年度(令和元年度)からの指定管理者制度導入に向けた準備を行い、一般財団法人ビジネスサポート花巻を指定した。
 ・新たな取り組みとしてワンストップ型相談所となる「ビジカフェはなまき」を開設し、新たに伴走支援体制を整備した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 起業・新事業展開の推進

○インキュベーター施設を活用した起業の推進

・新規創業者に対して入居施設(起業化支援センター、ビジネスインキュベーター)を設置・開放し、新規起業への取組を支援

○コーディネーターによる産業間連携の拡大支援

・起業化支援センターにコーディネーターを配置し、コーディネーターの持つネットワークやノウハウを生かした新事業展開を支援

○大学が保有するシーズを活用した地域産業の高度化の推進

・起業化支援センター内に設置した「国立大学法人岩手大学生産技術研究センター(通称:花巻サテライト)」において、岩手大学理工学部内の基礎研究部門で保有するデバイス技術を活用した研究開発、技術普及、技術相談及び技術指導を中心に地域産業の活性化・高度化を目的に活動を行なう

○起業化支援センター研究室の活用促進

・研究開発に特化した企業や機関等の招聘を通じた起業化支援センター研究室の活用を促進

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
インキュベーター施設の入居率	創業するために、起業や新たな事業展開を行っている企業がどの程度かを示す指標 ※インキュベーター施設は、創業するための支援施設であり、入居率(数)により起業、新事業展開の状況を測るもの	出典: 商工労政課 起業化支援センター(研究室8室、工場棟13棟)、ビジネスインキュベーター(6室) 計 27棟室の入居状況	%	目標値	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0
				実績値	70.3	66.7	59.3	70.3	70.3	
インキュベーター施設を卒業して事業所を開設した企業数	起業や新事業展開の結果、創業に結びついていることを示す指標	出典: 商工労政課 卒業企業調	社	目標値	2	2	2	2	2	2
				実績値	1	1	0	1	0	
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成果指標「インキュベーター施設の入居率」…【達成度b】 市とビジネスサポート花巻のコーディネーターの連携・協力のもと質の高いサービスを提供することにより29年度と同水準の入居率となった。 ■ 成果指標「インキュベーター施設を卒業して事業所を開設した企業数」…【達成度c】 入居企業複数社に対し、卒業後の設備投資について提案し市内展開を促したが、年度後半の景気停滞に今後の見通しが不透明であることや建設コストの高騰等により見合わせる傾向にあり市内展開に導くことはできなかった。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
1-1	起業・新事業展開推進事業 新規創業と新事業への展開を支援するため、工場・研究室・事務所施設の貸し出しを行う。また、地域企業の経営課題克服、経営戦略的活動について、支援制度の効果的活用や産学・産産連携を含めたトータル的なコーディネート活動を実施。(インキュベーション施設入居率:70.3%)	商工労政課	一致	直結	C
			A		
1-2	起業・新事業展開推進事業 花巻市起業化支援センター内に岩手大学生産技術研究センターを設置。同大理工学部内で保有するデバイス技術を活用した研究開発を推進する事業を委託。企業の技術研究、技術相談・指導を行い、地域産業の活性化、高度化を図る。(セミナー・事業相談会参加企業数:68社、サテライトの研究会参加企業数:33社)	商工労政課	一致	直結	C
			A		
2	起業化支援センター機能強化事業 起業化支援センターの開放試験機器(CNC三次元測定機)の更新(利用時間:81時間)	商工労政課	間接・少数	間接・補完	C
			C		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・入居率を高めることが事業展開企業を多く産み出すことにつながることから、新事業創出基盤施設のPRと効果的な情報発信を強化する必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・なし</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・起業化支援センター設立から20年以上が経過し、当時は全国に先駆けて設置された施設であったが、現在は他地域でも類似施設が存在しその優位性が薄れ、起業化支援センターの研究室の空きが常態化している。また、入居期間・更新回数を超過して入居している企業が存在する。</p> <p>(今後の方向性) ・経済情勢等により、企業の動向や創業者のマインドは変化するが、「ビジネスサポート花巻」がこれまで培った経験や能力を最大限に活かしながら、産業支援機関、地域企業、大学等関係機関と連携しながら各種事業や企業支援を行うことで卒業企業を輩出し稼働率を高める。</p>
--